

デジタル庁主管「Trusted Web の実現に向けたユースケース実証事業」に シミックと Keychain 社とのコンソーシアムで事業採択

シミックホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 中村 和男）のグループ会社である、シミック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員 藤枝 徹、以下：シミック）は、デジタル庁の委託を受け株式会社 NTT データ経営研究所が実施する「Trusted Web の実現に向けたユースケース実証事業」において、Keychain Pte. Ltd（本社：シンガポール、CEO Jonathan Hope／COO 三島 一祥、以下：Keychain）とのコンソーシアムで事業者として採択されたことをお知らせします。

政府は 2020 年 10 月、内閣官房デジタル市場競争本部に「Trusted Web 推進協議会」（座長＝村井純慶應義塾大学教授）を設置し、インターネット上で新たな信頼の枠組みの構築を目指す「Trusted Web」の実現に向けた検討を進めています。（※1）

「Trusted Web」は、デジタル社会における様々な社会活動に対応する Trust の仕組みをつくり、多様な主体による新しい価値の創出を実現することを目的としています。Trust の仕組みとしては、特定サービスに過度に依存せず、ユーザ（個人又は法人）自身が自らに関連するデータをコントロールすることを可能とし、データのやり取りにおける合意形成の仕組みを取り入れ、その合意の履行のトレースを可能としつつ、検証（verify）できる領域を拡大することにより、Trust の向上を目指すものです。（※2）

「Trusted Web」は、日本経済団体連合会（経団連）を含め、日本が推進する DFFT（Data Free Flow with Trust、信頼性のある自由なデータ流通）の実現に資するものと期待されています。（※1）

（※1）週刊 経団連タイムス 2022 年 6 月 16 日 No.3548 より

https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2022/0616_08.html

（※2）「Trusted Web ホワイトペーパーver2.0 概要」（内閣官房デジタル市場競争本部事務局）スライド#3 より

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/digitalmarket/trusted_web/pdf/trustedweb_gaiyou.pdf

本事業においてシミックと Keychain は、臨床試験及び医療現場における機密性の高い医療情報を関係者で共有する際、旧来の紙での運用や個別のシステムに依存せず、リーズナブルで且つ情報の信頼性を担保するシステムを設計し、関係者間で医療情報をタイムリーに共有できる環境の構築を目指し、共同で検討してきました。シミックと Keychain は昨年より臨床試験等におけるブロックチェーン技術の活用について継続的に議論を進めており、本事業における実際の開発及びコンセプト企画はシミックが行い、Keychain は Keychain Core SDK（ブロックチェーン技術をベースとする Keychain 独自のツール及びソフトウェアライブラリ）の提供及び開発コンサルティングを行います。

■事業概要

(Trusted Web HP にも公開されています。)

https://www.nttdata-strategy.com/info/trusted_webR3_koubo.html

ユースケース名： 臨床試験及び医療現場における信頼性及び応用可能性の高い
情報流通システム

コンソーシアム名： ヘルスケア情報流通システム開発コンソーシアム

1.背景

臨床試験及び医療業界では、現在においても重要な情報及びプロセスが紙媒体に記録されていることが多く、更新内容の把握・最新版の共有方法が煩雑になり、工数を要している事例が存在する。一方、既存のシステムを導入している場合にも、情報の信頼性、共有・流通の利便性等の観点で課題が顕在化している。加えて、近年、ウェアラブルデバイスやオンラインコミュニケーションツールの普及に伴い、患者を中心としたケアを目指す方向性にシフトしている。また、臨床試験業界では分散型臨床試験

(Decentralized Clinical Trial:DCT) の確立、医療業界では PHR (Personal Health Record) 及び EHR (Electronic Health Record) データの利活用が実現すべき大きな方向性として掲げられている。これらの実現には、関係者間の信用を確保した上で情報の信頼性を担保する情報流通システムが必要不可欠である。

2.目的

臨床試験及び医療現場における機密性の高い医療情報を関係者で共有する上で、リーズナブルで且つ情報の信頼性を担保するシステムの設計

3.事業内容

相互に信用したユーザー/コミュニティ内で電子ファイルやデータをリーズナブル且つシンプルな UI/UX で共有・流通可能なシステムを構築する。大規模で中央集権型のシステムを構築するのではなく、Keychain 社の提供する Keychain Core SDK を活用し、自己主権型デジタル・アイデンティティ (SSI)、データの真正性、データセキュリティ、合意形成等、応用可能性の高いコンセプトの企画・開発に重点を置く。



図 1 : Keychain Core 主要機能

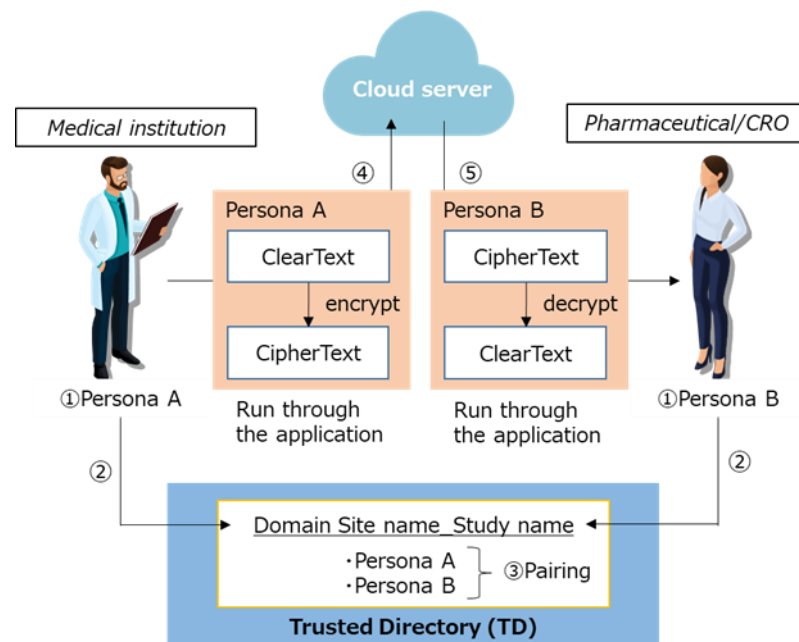


図 2 : 開発コンセプト

本事業においては、2023 年 3 月 10 日の最終成果報告会、同年 3 月 24 日の成果物納入に向けて、Keychain 社と共にコンセプト設計と開発を進めて参ります。

今後のスケジュールの詳細については Trusted Web HP をご覧ください。

https://www.nttdata-strategy.com/info/trusted_webR3_koubo.html

シミックは本事業採択を契機に、臨床試験における正確な情報管理の実現と更なる効率化を目指すと共に、医療・ヘルスケア領域全般に活用していけるよう、努力を続けて参ります。

■シミックグループについて

シミック（CMIC）は、1992年に日本で初めてCRO（医薬品開発支援）事業を開始し、今では開発から製造、営業・マーケティングまでの医薬品に関する総合的な支援業務を提供しています。現在、シミックグループは、日本で最大級のCROであると同時に、医薬品開発、SMO（治験施設支援）、医薬品製造、薬事コンサルティング、そして営業およびマーケティングソリューション等における包括的なサービスを提供しています。また、製薬・バイオテクノロジー・医療機器の企業の日本市場参入や、アジアでの臨床試験実施、米国と日本における医薬品開発および製造のサポートなども積極的に行っております。シミックグループは、世界中に7,500人を超える従業員とグループ会社24社を擁しています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。<https://www.cmicgroup.com>

■Keychain について

世界が必要としている「デジタル・トランスフォーメーション、Web 3、デジタル・アイデンティティなど」は、主要技術がないため妨げられています。主要機能には、自己主権型アイデンティティ、データ中心型セキュリティ、鍵管理、合意形成などが含まれます。Keychain は、これら機能を開発チームに提供し、運用能力の強化、および世界中のデータ、あらゆるデバイス、をつかった新しいビジネスパターンを創造することを可能にします。

詳細はウェブサイトをご覧ください。<https://www.keychain.io/ja/home/>

【報道関係からのお問い合わせ先】

シミックホールディングス株式会社

PR グループ

E-mail: pr@cmic.co.jp